



夏休みを生かした体験活動を！

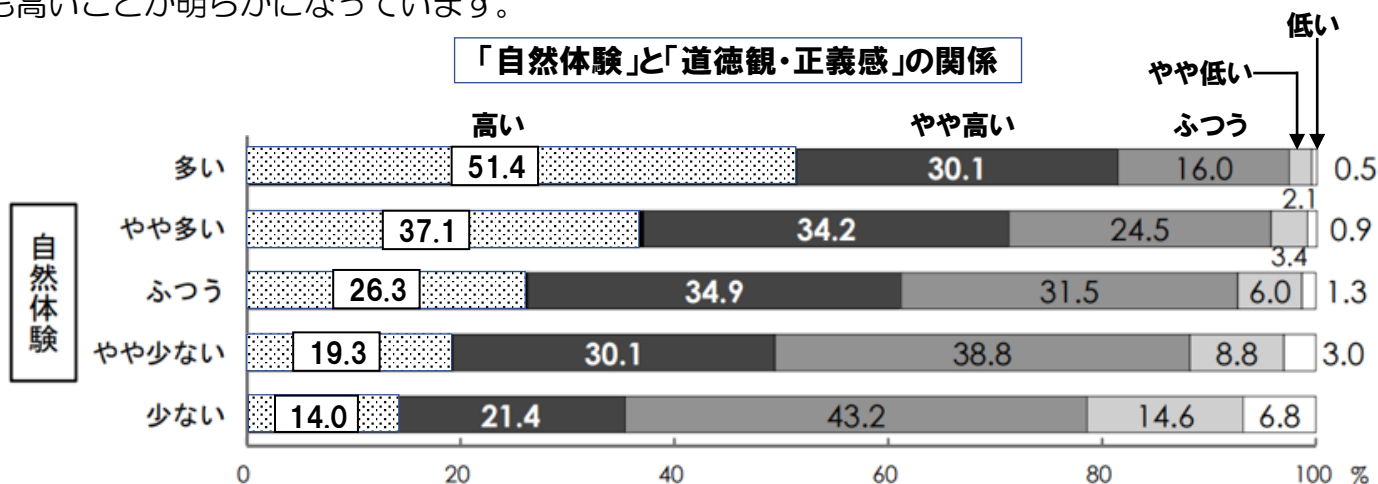
梅雨明け以降、気温もぐんぐんと上がり、いよいよ夏本番といった陽気です。今日、1学期の終業式があり、明日から子どもたちの楽しみにしている夏休みになります。夏休みは子どもたちが家庭や地域で過ごす時間が増え、家族や地域の方々とのふれあいも増えると思います。素敵な思い出をたくさんつくってほしいです。

夏休みの良さは、時間的な余裕が生まれ、家庭や地域でいつもとは違ったことに挑戦しやすくなることです。家族といっしょに過ごす時間も取りやすいので、お出かけやレジャーを計画している方も多いのではないのでしょうか。

また、田舎に行く、旅行をするといった遠くへ行くことばかりではなく、物を作る、課題について調べる、料理をする、動植物を育てる、遊ぶ等、日常の中でもいろいろな体験活動ができます。その課題を解決するため、試行錯誤しながら追究し、課題解決を図っていく過程で、子どもたちは考える力、判断力、学び方等を身につけることができます。さらに、解決の過程で驚いたり、知的好奇心を高めたり、解決できた達成感を味わったりすることができます。

文科省で約3万人の小・中・高校生に調査（H28）を行ったところ、自然体験が豊富な子どもたちは、「道徳観・正義感」が、少ない子どもたちよりも、約4倍高く、学習意欲・課題解決意欲も高いことが明らかになっています。

「自然体験」と「道徳観・正義感」の関係



様々な体験を重ねていくことが、考える力や判断力等を培い、感性を豊かにしていきます。それが、今の教育に求められている「生きる力」を育むことになります。そして、そのチャンスがこの長い「夏休み」にあるということです。

日頃、子どもとの時間がなかなか取れないという家庭でも、夏休みは一緒に過ごす時間も増えると思います。ぜひ、夏休みは子どもたちと一緒に体験し、団らんを深めてほしいと思います。 校長 藤井 朗

1学期の自然体験！

田植え体験（5年生）



ミニトマトの水やり（2年生）